



フェリーを使って、*Hachinohe Tomakomai* 八戸へ行こう!

青森県の南東部に位置する八戸市。イカをはじめとする水産業が盛んなほか、多くの製造業が立地する工業都市でもあります。夏は涼しく冬は雪が少ないこと、冬季スポーツが盛んであることなど、苫小牧市と共通点の多い街でもあります。2018年7月には両市の間で協定が締結され、「はちとまネットワーク」として今後のさらなる交流や連携が期待されています。

苫小牧市と八戸市はシルバーフェリーで結ばれており、遠いようで実は近い場所。この機会にフェリーを使って一味違った魅力がたっぷりの八戸市へ出かけてみませんか？

Access 八戸市への アクセス



苫小牧市と青森県八戸市を結ぶ「シルバーフェリー」。1日4便のフェリーが7時間15分～8時間30分で両市を結んでいます。

車で乗船すれば到着後、時間を有効に使って観光することができます。

大海原を眺めながらのんびりを楽しむ船旅もいいですよ。



01 八戸えんぶり

国の重要無形民俗文化財「八戸えんぶり」は、八戸地方に春を呼ぶ豊年祈願の郷土芸能。その名は田をならす農具「えぶり」や「いぶり」(ゆすぶり)に由来しています。えんぶりの一番の見どころは、太夫(たゆう)と呼ばれる舞手が、馬の頭をかたどった華やかな烏帽子(えはし)を被り、頭を大きく振る独特の舞。その舞は、稲作の一連の動作である、種まきや田植えなどの動作を表現したものです。太夫の舞の合間には、子どもたちによる可愛らしい祝福芸が披露され、見る者を楽しませてくれます。

- 開催期間:2月17日～20日●会場:八戸市中心街、市庁前市民広場ほか
- アクセス:本八戸駅から徒歩約10分、八戸駅から車・バスで約20分
- 問い合わせ:(一財)VISITはちのへ TEL:0178-70-1110



04 南郷 青葉湖の紅葉

青葉湖は、世増(よまさり)ダム建設によって造られた人工湖です。その昔、平重盛(たいらのしげもり)という歴史上の人物が、この地に連れてきたという伝説があり、彼が持参したと伝えられる「青葉の笛」にちなんで青葉湖と名付けられました。湖畔の展望台から望む風景は、四季折々の美しさを見せ、特に秋の紅葉が見ものです。なお、紅葉の時期には、青葉湖一周する屋形船遊覧船も運航されます。(紅葉の時期:10月下旬～11月上旬)

- 所在地:八戸市南郷島守●アクセス:市内中心部から車で約40分
- 問い合わせ:南郷観光協会 TEL:080-1800-8918



02 朝市

八戸市内では9つの朝市が開催されています。中でも、普段は何も無い広大な岸壁に、毎週日曜日の早朝にだけ開催される「館鼻(たてはな)岸壁朝市」は、300以上の店が立ち並び、毎回数万人が訪れる国内最大級の朝市です。

- 開催期間:3月中旬～12月末までの毎週日曜日●会場:八戸市新浜三丁目 館鼻岸壁
- アクセス:陸奥漁駅から徒歩約15分●問い合わせ:(一財)VISITはちのへ TEL:0178-70-1110



05 八戸の横丁

八戸市中心街に張り巡らされた8つの横丁。港町・八戸の郷土料理が味わえる居酒屋、常連客が集う小料理屋、老舗の Snackbar やパー、エスニック料理店などバラエティ豊かなお店が揃います。店主や隣の客との距離が近く、すぐに仲良くなれることも横丁の魅力の一つ。初めて訪れても話が弾み、懐かしさすら感じる不思議な感覚が横丁にはあります。

2002年に誕生した、「みろく横丁」は、市民や観光客、出張で訪れたビジネスマンなどに親しまれており、夜も狭い路地から人々の笑い声が聞こえてきます。

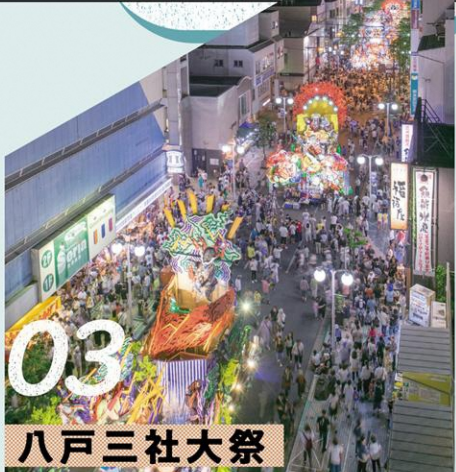
- 所在地:八戸市中心街
- アクセス:本八戸駅から徒歩約15分
- 問い合わせ:(一財)VISITはちのへ TEL:0178-70-1110



06 三陸復興国立公園 種差海岸

青森県から宮城県までの太平洋側に250kmにわたって、美しい海岸線が続く三陸復興国立公園。その玄関口に位置し、みちのく湖風トレイルの発着地点である種差海岸からは、荒々しい岩礁、四季折々の花々、波打ち際まで広がる天然の芝生など、変化に富んだ絶景が望めます。4月～10月は、種差海岸の自然を堪能できるキャンプ場も開設されます。また、ウミネコの繁殖地として、国の天然記念物に指定されている「熊島(かぶしま)」や、太平洋と種差海岸の大パノラマを体感できる「葦毛崎(あしげざき)展望台」など多彩なビュースポットが点在します。

- 所在地:八戸市般町●アクセス(種差天然芝生地):種差海岸駅より徒歩3分
- 問い合わせ:種差海岸インフォメーションセンター TEL:0178-51-8500



03 八戸三社大祭

300年の歴史と伝統を誇り、ユネスコ無形文化遺産に登録されている祭り。27台もの豪華絢爛な山車が八戸の夏を熱く盛り上げます。三社は、八戸市内にある、おがみ神社・長者山新羅神社・神明宮のこと。祭りは、三社の神輿行列の後に山車が続き、神楽や巫女行列、虎舞や獅子舞なども沿道の観客を魅了してくれます。

- 開催期間:7月31日～8月4日●会場:八戸市中心街、市庁前市民広場●アクセス:本八戸駅から徒歩約10分、八戸駅から車・バスで約20分●問い合わせ:(一財)VISITはちのへ TEL:0178-70-1110



07 史跡 根城の広場

日本100名城にも選ばれ、国史跡の指定を受けている根城(ねじょう)。ここは、南北朝時代、南朝方の武将・南部師行(もろゆき)が、1334年に築城して以来、領地替えまでの約300年間、八戸地方の中心として栄えました。主殿や工房、納屋、馬廄などの建物が忠実に復元され、安土桃山時代の根城の面影を現代に伝えていきます。

毎年4月下旬には、「史跡根城さくらまつり」、10月上旬には「史跡根城まつり」がそれぞれ開催され、広場及び博物館が無料開放されます。

- 所在地:八戸市根城字根城47
- アクセス:市内中心部からバスで約10分(根城バス停下車)
- 問い合わせ:史跡 根城の広場 TEL:0178-41-1726

